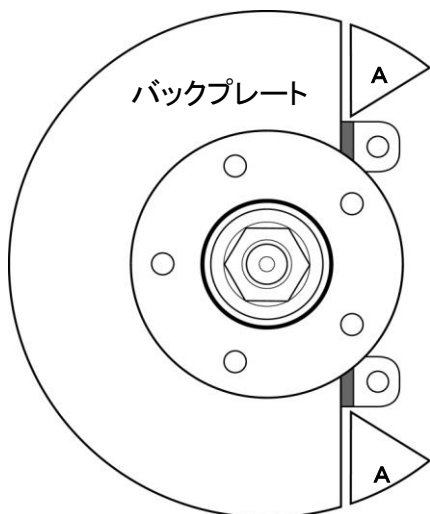


# ツインブロックキャリパー取付ポイント

このたびは、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
この取付ポイントを参考に作業を進めて下さい。



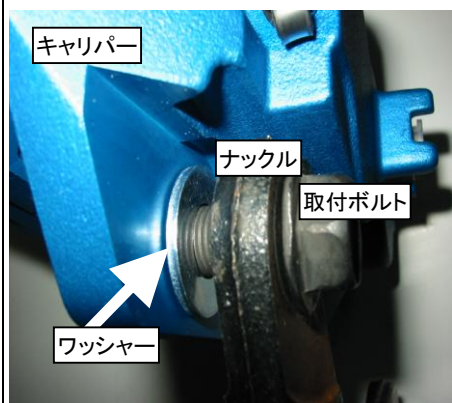
## ○バックプレートの加工

バックプレートと干渉する『A』の部分はエアソー等で切り取って下さい。

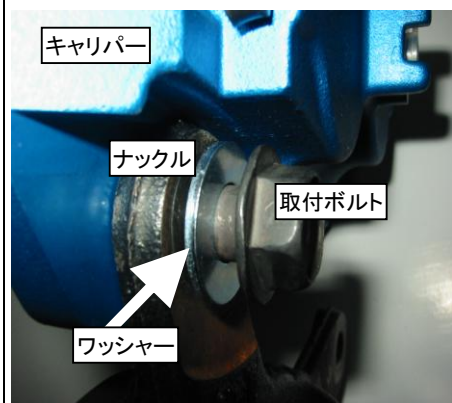
## ○ワッシャー(付属品)の取付位置

取り付ける車種でワッシャーの入る位置が違います。下の写真を参考に取付けて下さい。  
またボルトは専用品です、STDは短いので決して使わないで下さい。  
締め付けトルクは108N・m(11kgf)です。

○EG2/6/9, EK4/9, DC2/DB8 TYPE-R '96spec

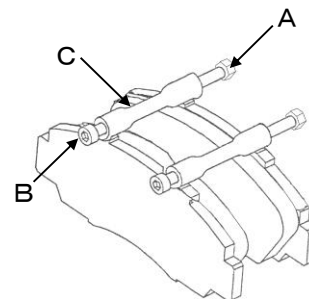


○DC2/DB8 TYPE-R '98spec



# 取付後の注意点

## ○ブレーキパッドの組み付け手順



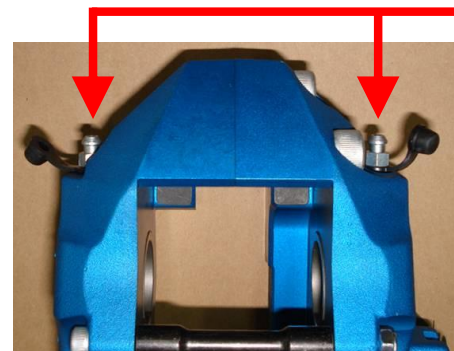
先に奥のナット『A』をゆるめて、その後表面のボルト『B』をゆるめ『C』のカラーを取り出します。  
ブレーキパッド挿入後は、逆の手順で指定トルクで組み付けます。

指定トルク

『A』ナット: 11. 7N・m(1. 2kgf)

『B』ボルト: 15. 4N・m(1. 6kgf)

## ○エア抜き作業



作業はブリーダーの締めすぎに注意して下さい。

冷間時にトルク5. 8N・m(0. 6kgf)厳守で慎重に作業をお願い致します。  
ブリーダーボルト内の液が走行時に熱で出て来ますので、ブリーダー内部をブレーキクリーナーなどを使い十分に洗浄・脱脂してから走行して下さい。  
ブリーダーからの少量の「液ニジミ痕」ならば問題はありません。

過度な増し締めはブリーダーの挫屈やネジのアガリの原因ともなります。  
細心の注意をお願い致します。

## ○キャリパー本体のオーバーホール

オーバーホール作業はスプーンに該当品をお送り頂き作業をさせて下さい。  
作業終了後は製品検査を行い報告書を添付してご返却致します。  
なお、紛失などで小部品が入り用な場合は、添付製品概略図を使い、必要な部品を指定しご注文下さい。